

平成29年10月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年11月2日(木) 13時30分～15時30分
2. 開催場所 日野町役場202会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、西村吉弘教育長職務代理者、
山田めぐみ委員、高橋政宏委員、谷 信代委員
4. 出席事務局員
教育次長 : 高橋 正一
学校教育課 : 参事 野瀬 薫 参事 正木 博之
生涯学習課 : 課長 日永 伊久男
図書館 : 館長 高浪 郁子
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

今宿教育長	<p>ただいまから、日野町教育委員会定例会議を開会します。</p> <p>このところ肌寒い日が続いておりまして、もう冬の支度をしなければならぬ頃かと思っておりましたが、今日は爽やかな秋晴れの一日となりました。</p> <p>委員の皆さま方にはご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。また先日は、近畿教育委員研修会に遠路和歌山までご出席いただき、ありがとうございました。</p> <p>その中で、特別支援教育についての講演をお聞かせいただいたわけですが、改めてその内容をしっかりと理解し、対応していく力をつけていくことの大切さを痛感させていただいたところです。ご支援等よろしくをお願いします。</p> <p>また、今週・先週と週末に台風が接近・上陸しましたが、幸い日野町の公共施設等に、大きな被害はございませんでした。それでも多少の影響はありまして、県内の学校等でも体育館の屋根が飛んだというニュースもございましたので、季節外れの台風の怖さというものを実感しました。また、水温が1℃上がるだけで大きな台風がより頻繁に来るようになるということからも、環境のことももっと考えなければならないと思います。</p> <p>それでは、本日の定例会議を議事日程に基づいて進行させていただきまします。まず、日程3の前回委員会の議事録の報告につきましては、お手元に配布の議事録のとおりでございます。委員各位におきましてご覧いただきまして、異なるところがあれば事務局までご連絡をお願いいたします。</p> <p>続きまして、日程4の経過報告に移らせていただきます。まず、私から主な経過を報告させていただきます。</p> <p>10月を振り返ってみますと6日には、青少年育成町民会議の総会が開催されました。その中で新会長が選出され、井澤善雄様が新たに会長として選出されましたのでご報告いたします。</p> <p>また、8日の町民運動会でございますが、各地区賑やかに実施されました。その中でも中学生が準備等でいろいろと活躍をしてくれている様子を見させていただき、大変嬉しく思いました。7か所で運動会が実施されたわけですが、それぞれに地域の特色を活かして活発に実施されていると見させていただきました。</p> <p>また12日には、人事主事訪問がございました。日野町では2回の人事</p>
-------	---

<p>野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長</p> <p>今宿教育長</p> <p>山田委員</p>	<p>主事訪問がございまして、1回目がこの日でございました。その中で、次年度の人事について話し合いをさせていただき、すでに次年度を見据えて動き出しております。</p> <p>また、15日にスポーツ天国の日が開催されましたが、この日は雨のために室内競技のみの実施となりました。雨天の中でしたが、野球の赤尾選手、キックボクシングの麻原選手、日野町ではないのですが、走り高跳びの我孫子選手、卓球の野村選手など有名な選手が子どもたちの指導者としてたくさん参加してございまして、大変盛り上がりました。</p> <p>17日は合同体育祭を予定してございましたが、中止となりました。しかし、「八の字とび」という競技を毎年実施してございまして、この「八の字とび」につきましては、各学校で実施をして、後ほど表彰させていただこうと思っております。</p> <p>18日には、滋賀県と滋賀県教育委員会に対して、6町の教育委員会から要望活動にらせていただきました。県内の6町の連携した事業でございまして、主に広域人事ですとか、特別支援学級通級教室の新たな設置ですとか、通学路の安全対策、野瀬参事の立場の人員確保のための補助要望をらせていただきました。</p> <p>また19日は、給食運営協議会を開催させていただきました。今年度日野小学校の給食棟が改築ということになりまして、次年度から米飯給食をどのようにしていこうかということや、また、それに伴う給食費の設定、地産地消の取り組み等について協議をしていただいたところでございまして、このことにつきましては、また何回か会議を開いて決めていきたいと思っております。</p> <p>21日には、教職員の球技大会をしました。ビーチバレーボール大会でございまして、町内の教職員がチームをつくり、西大路小学校の体育館でプレイしました。身体を動かした中で、町内教職員の交流が図れたのではないかとと思っております。</p> <p>24日は近畿ブロックの教育委員会の研修会でございました。</p> <p>それから25日が町民大学の今年度の最終日でございました。7時半からの開会で、夜遅くなりましたが、大変多くの参加者で、熱意を感じさせていただいたところでございまして、</p> <p>以上でございます。</p> <p>続きまして、各課からの報告を学校教育課から順次させていただきます。</p> <p>各課から報告</p> <p>以上、各課より報告をいたしました。ただいまの経過報告につきまして、ご質問等ございましたら、よろしく申し上げます。</p> <p>10月15日のスポーツ天国の日の行事に、昼から寄せてもらいました。雨天で予定通りに行われなかったのは残念でした。子どもが野球をしていますので、野球教室に参加させていただきました。ああいうふうには日野町ゆかりの選手の方を大勢呼んでくださるということは、子どもにとっても大変良い影響にもなると思います。また、保護者も興味津々で、選手のそばまで行って指導の仕方を見ておられました。すごく良いことだと思いま</p>
---	---

日永課長	<p>したので、今後もぜひ続けていってほしいと思います。</p> <p>ありがとうございます。今年は、いろいろな選手に交渉してお越しいただきました。晴天でしたらもっといろいろな教室も体験してもらえたと思うのですが、今おっしゃっていただいたように、子どもさんだけではなく親御さんたちも楽しんでいただける一日になるように、今後も考えていきたいと思っています。またご参加をよろしく願いしておきます。</p>
谷委員	<p>学校教育課の27・28日の「学ぶ力向上に関わる先進地研修」というのがあるのですが、これは新人の先生が勉強される研修ですか。</p>
野瀬参事	<p>若い先生方を中心に学んでいただきたいということで、2～5年目くらいの先生にご参加いただくように、まずはお声を掛けさせていただきました。ただ、学校の事情によりまして、若い方よりもベテランの先生も多数ご参加いただきました。</p> <p>ただ、そういう方が学校で複数ご参加いただくことによって、見てきたことを学校内で交流していただき、他の若い先生方にも広がっていくかと思えます。私どもの狙いとしては若い先生だったのですが、実質来ていただいたのは、ベテランの先生も含むという形で来ていただいたというのが実情です。</p>
谷委員	<p>今、どこの小学校もそうかと思うのですけれども、南比都佐小学校では毎年、新卒の若い先生が入ってこられて、それでクラス担任を持たれるのですけれども、初めての先生なので、子どもたちを見るということに関しては、いっぱいいっぱい、一生懸命やってくれるのはわかるのですけれども、保護者同士の話では、その対応が気になることも間々あると伺います。それをうちで、子どもさんの前で「この先生はあかん」と言ってしまうという状況で、子どもたちにしたら、お母さんが「あかんって言ってた」みたいな感じで、その先生を信頼できないようなこともおこっています。都度その場では、「子どもさんの前では、あまり先生のことを言うのはよくないんじゃないの?」「直接学校に言って、先生同士の中で指導していただければどうか。」というふうに言いました。</p> <p>保護者からすると、若く子育ての経験もない先生に、「言ってもわかってくれるかしら」ということもあります。</p>
野瀬参事	<p>おっしゃることは本当によくわかります。南比都佐小学校は特に5年・6年経験までを含めまして、ほとんどの学級担任の先生方がそれくらい若い先生方で占めております。ご指摘のとおり、ベテランの先生の良さと、若い先生の良さというのがある、若い先生の良さもあるのですが、親御さん対応とか不安な点も多々あるかとは思います。</p> <p>そういう点につきましては、校長・教頭から、また教務の方から指導はさせていただいておりますけれども、なかなか十分至ってないところもあるかと思えます。</p> <p>今、谷委員さまがおっしゃってくださいましたように、私も校長として、保護者会等の席上、「思っていたくのは自由です。ただ、子どもと先生の信頼関係によって教育は成り立ちますので、お子さまの前で先生の至らないところを言うのは、控えていただければ幸いです。」ということをまず第一にお願いさせていただいてスタートさせていただきました。</p>

<p>高橋委員</p>	<p>私どもも若い先生方を育てなければならないと、痛感しております。その一環としていろいろなことをさせていただいておりますし、昨日も課長補佐の林がパートナー事業ということで、2年目～5年目の先生の授業を見に行き指導をさせてもらうということもさせていただき、一步一步、そういうところに対しても手を差し伸べられるような取り組みを始めさせていただいているところです。</p> <p>まだまだお目だるい点があるかと思いますが、「長い目で見て」とお願いしても、子どもにとってはその一日一日は本当に大事な一日ですので、いつまでも長い目で見ていただくことはできませんけれども、先ほどお話しいたしましたように、子どもも育てるし、先生も育てる日野町になっていければと思います。教育委員の皆さまのご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>今の件に関しまして、やや個人的な見解になりますけれど、私は現職の頃から、新採で来た先生について、意図的に学級担任をしてもらいました。そのことによって、やはり彼らは困難にぶつかります。どちらにしても困難にぶつかることは間違いのないわけですから、早くぶつかって、それを乗り越える。そして先生が成長していくということについては、管理職もPTA総会などで、「教員配置については、基本的にこういうようなラインでさせてもらいました。」というような話をしてきましたし、そういう話をしてくださいというようなことを言ってきたこともあります。</p> <p>ただし、今もおっしゃいましたように、それぞれの先生はまだまだ、こんな言い方はいけないかもわかりませんが、未熟ですよ、当然のことです。学問的と言いましょか、そういうペーパー上ではわかっていますが、児童・生徒に直接触れて、出会って、会話するということは、教育実習以来ほとんどないわけでありますから、当然課題もあるわけですが、親さんには、子どもの前で批判はやめてほしいと、そういうことがあれば管理職とか教育委員会でご相談していただきたいということを申し上げてきたことがありました。</p>
<p>西村委員</p>	<p>私は、3点発言をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず最初は、10月19日にいじめ問題に関して県の教育委員会が南比都佐小学校を訪問されたということでございます。大変よい雰囲気です。そうした事象はないということで確信を持って帰っていただいたとのことで、大変結構なことでございます。</p> <p>全国的なことにつきましては、確か文科省が10月26日に発表しまして、27日に朝刊に載ったと思うのですが、いじめの認知件数が大幅に増えたとか、暴力行為、不登校、その他諸々、こうであったという発表がございました。</p> <p>私は、それはそうだと思うのですが、一番気になりましたのは、福井県の池田中学校で起こりました2年生の男子の自死についてですが、これは大変心の痛む問題でございます。いじめ問題というのは、ある意味では子どもの世界というか、先生とは別の子どもの社会があって、そこでの親分子分とかいろいろな人間関係があつてのいじめだと思うのですが、福井県の池田中学校のケースは先生の問題であろうと私は思います。</p> <p>前に大阪市立桜宮高校、あれは部活ということと体罰ということで、ああした残念なことが起こったのですが、今回の中学校の場合は、正規の授業ですね。そういう意味では非常に重い話だと私は感じました。ま</p>

今宿教育長

して小規模な学校でおこっているわけですね。そういう意味では、一方では行き届いた教育、また学テの成績がよいとか言っているが、こういうことが現実におこっていることについては、大変深刻だと思いました。

教育機関、学校は、人の命を預かっているという認識で、一層これからそういったことがないように、いろいろ現場では大変だろうと思えますけれども、ご注意いただきたいと思った次第です。

2番目は、紀の川市でございました近畿市町村教育委員会研修大会、あの中では特に前半の講演で、発達障害のある児童・生徒に対しては、その子どもが今どういうことを思っている、どういう状況にあるのかということを知ってというか、その状況をよく見てこちらから必要な対応をしていくという意味では、大変細やかな神経が要求される部分でございましてけれども、いろいろお話を聞かせていただいて、私としては大変勉強になりました。

3つ目は、10月19日に給食運営協議会が行われまして、私、初めて出席をさせていただきました。教育長から先ほど全体についてのお話がございましたが、私も参加させていただいて、会議で決まったこと等についてはご報告があったとおりでございます。

私、あの会議で思いましたのは、現場の給食に携わっておられる方のお話しが直に聞けるというのは、初めての経験でございまして、決められた予算の中で献立も決めていかなければならない。そして、いろいろな現場のご苦労というものを直接聞かせていただいて、私としては大変参考になった次第です。

日野町全体として自校給食、しかも自営でやっているという点では誇り得る状態でございますが、ただ私、1回も頂戴したことがないのです。以前にも、教育委員も給食をぜひ経験させてもらったらどうかということもお話に出ていましたので、もし機会があればそういうこともひとつお願いできればありがたいと思います。以上です。

ありがとうございます。貴重なご意見をいただきまして、本当に背筋が伸びるような思いでございます。

まず、スポ天で日野町ゆかりの方、滋賀県の代表的な方に来ていただいて、身近に触れ合い、子どもたちも夢や憧れ、こんなふうに頑張ろうという思いや、感じるものがあつたと思いますので、そうした機会をできるだけいろいろなところでもちたいと思います。

それから、県や全国の教職員の組織で申しますと、50歳代後半の教師が非常に多いです。その教員が退職しますと、代わって若い教員が増えてきます。管理職も含めてですが、5年といわず3年経った時には、層がガラッと変わってくるのが予想されます。滋賀県ではここ何年か、200人くらいの規模で新規採用が進められています。また40代の先生たちが非常に少ない年齢層になっております。

若い先生は、デメリットもありますが、メリットもあります。強みも弱みもあると思います。強みでいうと、とにかく若くてパワフルで、エネルギーがあつて、一生懸命子どもたちのために、フットワーク軽く全力で教育に当たってもらえます。新任の先生の研修会の部屋に入ったら、若いオーラで圧倒されそうなくらいです。小学校・中学校とも、子どもたちにとっての若い先生というのは魅力ある存在であると思います。

弱みというのは、先ほどおっしゃったように、保護者対応とかいろいろな経験が少ないことや、授業でも、見通しが立ちにくかったりして、授業

	<p>力の経験不足が弱みかと思えます。</p> <p>その辺のところは、若い教職員の研修というのはしっかり計画的にしていきますし、校内で教える体制も取り組んでいるところです。</p> <p>若い先生は1年目の半年くらいはバタバタされているのですが、1年目の後半になるとしっかりできてきますし、2年目・3年目になると逆に、学校の中心になってくる先生が何人もいらっしゃいますので、そういう先生方を町としては育てなければならないと思っています。</p> <p>給食につきましては、一昨日、守山市の教育委員会さんが日野中学校の自校給食の視察に来られました。守山市も3年先くらいに自校給食で取り組みたいとの事で、日野中学校の状況を視察されました。調理員さんが各配膳場所までワゴンを運んで、それから給食当番が教室まで運ぶ。子どもたちはそれぞれセルフサービスで自分の机まで運ぶ。ずっと一連の動きを視察していただいたのですけれども、非常に落ち着いてスムーズにできていると感心していただきました。</p> <p>見ていただいた時間帯というのは、子どもたちの昼休みなど自由な時間帯で、その時間内に学校図書館へどんどん行くのです。たくさんの子が行って、そして本をいろいろ選んで借りていました。司書さんに「いつもこんな状態ですか」と聞いたら、「そうです。まだまだどんどん来ます。」ということでした。</p> <p>学校に図書館司書に入っていて、子どもがよく借りる本をよく知っておられ、そういう本が集められているのか、子どもたちが読みたい本に図書の見出しが反映されていることを感じました。</p> <p>そういう姿を見ていただいて、すごく感心していただいたので、委員の皆様にもそういう面を見ていただくといいのかなと思わせていただいたところでもあります。</p> <p>それから、給食も一緒に試食していただく機会も設けさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。</p>
高橋委員	<p>もう1点、お尋ねをいたします。先ほど西村委員さんのご質問の中にありましたいじめ問題という話ですが、報道だけを見ていると、先般の報道で全国的に、非常にいじめの事案が増えたと。中身を見てみると、各自治体でかなりの開きがあります。</p> <p>例えば京都府などはものすごく急に増えたと。各学校でいじめのとりえ方、確かにいじめ防止法案など法律に則ってされているのだろうと思いますが、あれだけ増えてきているということが、極端な言い方ですが、子どもたちが学校生活を送るうえでは、普通、我々が見てきた中では、ちょっとしたケンカとか行き違いとか、そういうことは子どもの学校生活で、普通という言葉は語弊があるかもわかりませんが、結構あるのではないかと思います。</p> <p>私の考え方でいうと、小学校と中学校は違うだろうと思っています。各学校での先生の、これはいじめだとか、ある程度見たら感覚的にわかるのではないかと思います。そういうあたりで、学校教育課として管理職等にどんな指導をなさっているのか、簡単に結構ですので教えていただければありがたいと思います。</p>
野瀬参事	<p>高橋委員、重要なお指摘をいただきまして、どうもありがとうございました。以前といじめの定義が変わってまいりましたことは、お知りおきいただいているかと思うのですが、現在のところ、たとえ1回でもその子が嫌</p>

	<p>な思いをしたら「いじめの疑い」というふうなことが定義としてなされています。以前は「継続的に、立場上上位にある者が下位の者に」とか、いろいろないじめの感覚があったのですが、今は、例えば私がポンと叩いて、その人が嫌な思いをされたら、これはいじめだというとならなくなっております。</p> <p>したがって、カウントするのが非常に難しい。本当にアンテナを高くして、すべてのことを拾い上げていけば、日常茶飯事そういうようなことが起こります。おっしゃいますように、学校というのは人間関係を揉むところでもありますので、失敗しながら、どのような形で人間関係を築いていくかということをお勉強の場でもあります。</p> <p>ですから、子どもたちは失敗して学びますから、今のようなことがあっても当然です。それを全部あげていきますと莫大な数になります。昨年、教師が高いアンテナを持つ、いじめに対するすどい感覚を持つということで、すべてあげていただく形で取らせていただいていた。</p> <p>そうしますと、例えばひと月に50数件とか、学校によってはあがってまいります。それは一面いいことですが、本当に重要なところを見落としてしまうことにもつながりかねません。だから校長先生と教頭先生と相談させていただきまして、担任から見るとこれは重要だと、おうちに家庭訪問をしたり、放課後電話をしたものに関しては、統計上げましょうという形にさせていただいております。</p> <p>以前は、ちょっとでも先生が気がついたら、叩いた、嫌だということをお子さんが訴えてきたらカウントし、報告をあげていただいていたのですが、その作業だけでもすごい量になりますので、一応の基準としておうちへ電話をした、家庭訪問をしたという数だけをあげていただくことにしました。</p> <p>昨年度途中から、そのカウントの方法を変えましたので、正式な数ではありませんが、平成28年度は1年間でいじめの認知件数が、小学校5校で194件になっております。5月は51件、6月24件という形で、この時は多く数えていました。ある程度落ち着かせていきまして、後半では6件とか15件とかいう形でカウントしていきまして、ひっくるめた形ですけれども、数値だけ言いますと194件と認識しております。そのうち重大事案としてはあげさせていただいているのは、皆さまもご存じのように、中学校ではブラスバンド部での案件とか、重大と言われるものについては一部になってまいりますけれども、数の認識としてはそのような形にさせていただいておりますし、カウントの仕方の共通理解としてはそのようにさせていただいております。</p> <p>私も元教員でしたので失礼なことを言うかも知れませんが、教員が家庭訪問をするなり、電話をかけるという時には、やはり勇気が要るのですね。それは、若い先生であればあるほど、次に何を考えるかということ、保護者対応のことがありますので、これはちょっと気になるけどやめておこうとか、以前は多々あったように思います。</p> <p>ですから、そういうところで管理職が対応をする必要があると思うのですが、そういう共通認識を、小学校では比較的なされやすいのではないかと思います。しかし、中学校の現場となると、担任の裁量のようなところが多くなってしまいうことも感じるように感じます。中学校のそういうあたりの基本線みたいなものは、小学校と一致されていますか。</p> <p>電話をしたとか家庭訪問をしたことをカウントしようというのは、小学</p>
高橋委員	
野瀬参事	

	<p>校においてです。中学校におきましては、毎回、問題行動の報告をしていただいておりますので、それにあがってくるように学校ではちゃんと指導していただいておりますし、それがあがってきたものをカウントさせていただいております。</p> <p>昨年度、日野中では11件の把握をしていただいております、先生方が子どもたちの様子を見て、できるだけすくい上げる形で数を取り上げていっているというところの数になってまいります。</p>
高橋委員	<p>ありがとうございました。</p>
今宿教育長	<p>では、進めさせていただきます。</p> <p>次に、日程5の協議事項に入ります。</p> <p>この後、平成29年度第2回総合教育会議が開催されますので、総合教育会議での議論についてご協議いただきたいと思っております。</p> <p>まず、進行の案につきまして事務局から説明をさせます。</p>
正木参事	<p>総合教育会議の進行について</p>
今宿教育長	<p>説明をさせていただいたような進行案で会議を進めさせていただこうと考えておりますが、ご質問ご意見等がございましたらお願いします。</p>
今宿教育長	<p>日野の教育の重点目標について</p>
高橋委員	<p>今、学習指導要領が新しくなって、授業でいうとそんなに昔と今と大きく変わるという見方よりも、やはり大切なのは、先生であれば1時間授業を教えて、充実していたということが大切だと思います。子どもたちも、1時間勉強して、これがわかったというような充実感は昔の言葉でいうと、不易なものだと思うのです。</p> <p>日野の子どもたちの、学力を取り上げたりとか、あるいは生活実態を取り上げたという時に、各学校の広報などを見ましても、多くが言葉で表現してあって、数字で物語ってないのですね。</p> <p>先般、ある市へ行った時に、公開してもよいところの4年ほどの学力調査の数字を、その学校の保護者全員に公開された事例を伺いました。そのことでここが課題で、ここが成果だということがわかるわけです。</p> <p>ですから、言葉でいろいろ「こういう取り組みをしている」ということも非常に大切ではあるわけですが、全国と日野町の子どもと比べてどうなのかとかいうことを見る時に、公開をしてもよいような部分は公開してはどうかでしょうか。私がこの間行ったある市では、例えばスマホの時間とか、テレビを見ている時間なども、公開されていました。</p> <p>ですから、そこをやはり「見える化」ということで、数字で表せるところは表してもらって、近年こういう傾向だとか、ここはよくなってきたとか、そういうところに目を向けていただけるようなことで、総合教育会議ではお話をさせていただきたいと思っております。</p>
今宿教育長	<p>それはもうどのようなご意見をいただいてもいいと思っておりますし、また教育委員会の見解なども出させていただきたいと思っておりますし、また今回は総合教育会議ですので町長も入ってくださいますので、町長からもご意見があるかと思っております。</p>

高橋委員	<p>ありがとうございます。</p>
今宿教育長	<p>先ほど言いました、中学校の子どもたちの給食の取り組みや、休み時間の過ごし方なども町長に話をさせてもらっていたのですが、町長もそういうことを全然知らなかったと。</p> <p>I C T教育についても、タブレットを整備したけれども、実際どうなのかとか、どういう成果があるのか、また授業改善のために活かされているのかといったことも見えないので、もっと聞かせてほしいし、恐らく保護者も町民さんも関心を持っておられるのではないかとということを町長とお話させていただいています。</p> <p>広報の学校だよりなどで、テーマを決めて、日野町の学校教育についてももっともっとPRしていくことも必要だと思われま。町民の皆様に理解していただく、知っていただくということは大事なことだと思います。</p> <p>高橋委員さんがおっしゃっていただいた数値化というのはよく言われることでありまして、以前は、教育は数字に似合わないとかそぐわないとかいうことを言う声もありましたけれども、視覚化することでよくわかるということもあります。しかしそれは何を数字にして、何を示していくのか今よりよくしていくための資料となる数字は何なのかということをしかりと精査しないといけないと思います。大事なことは一人ひとりの子がどれだけ理解していて、何を苦手としているのかということとわかんないと、次の対応はできないので、傾向という方向性は理解しながらも、個別の適切な対応が必要です。</p> <p>例えば、スマホをしている時間の経年の変化とか、読書冊数とか時間とか、子どもたちの生活の仕方とか、それらの変化を数字で見ると、よいところは伸ばしていこうという、次の動きにつながるような、見える化することで効果があるものについて十分検討しなければならないと思っています。かえって逆効果になるものもありますので、そのことはしっかりと慎重に考えていきたいと思っています。</p>
山田委員	<p>30年度の施策の話をお聞かせいただきましたけど、ここに書いてある「教育委員会組織の増員、各支援員の活用」というのは、学校教育課のメンバーを増やすということですか。</p>
今宿教育長	<p>私たちが教員になった頃の合言葉は、「わかる授業」「楽しい授業」でした。今でもそれは、不変です。今、国が示している「深い学び」とか、アクティブラーニングとかは、実はもうやっけてきている事でもあるのです。</p> <p>「めじとまふ」ということを前に言わせていただいたと思いますが、「め」は目当てを持ってしよう。「じ」はまず自分で考えて自力解決をしよう。「と」は友だちと意見を交流し合おう。「ま」は自分の思いをまとめて、振り返って、次につなげようというものです。「めじとまふ」は、日野町の中で授業の合言葉としてずいぶん定着してきています。子どもにも定着してきています。</p> <p>ところが、ほんとの意味で実感としてそれができているかどうかということなかなか難しい。教育委員会の者も足しげく学校現場の方へ行って、指導をするというのが今、力を入れたいと思っているところではあります。今の限られた人員の中では、なかなかそこはできませんので、教育研究所のような役割を持って人材を置いて、さらに授業力向上を目指したいとい</p>

	う思いがあります。
山田委員	わかりました。
今宿教育長	いろいろな政策が入ってきていますので、それはその都度、考え方を各学校の方にお知らせしていきたいと思います。
高橋委員	<p>教育研究所にはいろいろな分野がありますから、あれもこれもは、なかなか難しいと思います。教育研究所の狙いを何にするのか、日野町でいう教育振興施策の中のどこに視点を当てるのかとなると、私はやはり、子どもの学力だと思うのです。学力を上げないことには、子どもの成就感なども含めて、伸びていかないと思うのです。</p> <p>そういう意味で言うと、授業の改善とか幼・小・中・高の連携・接続とか、そういう部分を特化したような教育研究所的なものが必要かと思えます。開かれた教育課程というようなことなども重要かとは思いますが、ふるさと日野の子どもということをとらえ、日野の子どもの学力をいかにして上げていくかということではなからうかと思っています。</p>
野瀬参事	<p>教育長がおっしゃっているのは、授業の質を高めるということ、そして困難な子どもたちにもより平等に教育を実現できるような施策をしていきたいということだと思います。</p> <p>それに伴って、必要な子どもたちへの放課後学習教室を実施するとか、質を高めた教育をするためには、やはり教師の力量も高めないとはいけませんので、今、高橋委員がおっしゃっていただいたように、各学校の先生方への指導を進める取組みを主にできたらなというふうに考えています。</p>
高橋委員	以前の教育委員会の時に、貧困とか言っているけど、そういう調査とかどの程度だとか、そういうことは日野町教育委員会としてはわからないという答弁だったと思います。
野瀬参事	支援の必要な生徒を対象とした取り組みについては、今年度、生涯学習課を中心に始めていただいておりますので、それをより充実させる。また、中学校において地域未来塾として、部活のない日に、補習授業的な活動を入れていくとか、いろいろなことが考えられますので、高橋委員がおっしゃっていただいているような学力向上、そして授業の質を高める、そしてもう1つは、平等という視点で子どもたちに対する配慮をより深めていくということにおいても、今の人員プラスでできたらなというふうに考えております。
今宿教育長	学力をつける特効薬はないと思われまますので、いろいろなことをしていく中で、力がついていくと思います。その最善のものが学校の中では、授業がそうなんですけれども、その授業がよりよいものでなければならぬし、その授業が成立するためには、子どもたちの生活の基盤がしっかりしていなければならないし、学校から帰って家庭での学習も大切ですし、いろいろなものが絡み合っていると思います。どれだけしたらいいということではないのですが、一転突破ということもまたある意味考えられると思います。30年度の重点としては、授業を大事にし、しっかり研究する方向性を打ち出していきたいと考えています。高橋委員さんがおっしゃって

	<p>いただいている意味は十分汲ませていただきながら言わせていただいているということをご理解いただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>ありがとうございました。</p>
今宿教育長	<p>それでは、本日定例会の終了後、本会議室におきまして引き続き総合教育会議へのご出席をよろしく申し上げます。 それでは、議事を終了し、日程6の今後の予定等について、学校教育課から順次説明をさせていただきます。</p>
野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長	<p>各課から報告</p>
今宿教育長	<p>今後の予定の説明が終わりましたが、ご質問などございませんか。 ないようですので、次回の委員会日程について、事務局から調整をさせていただきます。</p>
	<p>次回定例会日程調整</p>
今宿教育長	<p>では、次回の定例会は、11月28日（火）とします。 学校給食の試食や放課後学習の参観も兼ねて桜谷小学校での開催としたいと思います。 開催時間等につきましては、後日お知らせします。 続きまして、日程7のその他に移らせていただきます。 子ども支援課長から、平成30年度の保育園、こども園、幼稚園の申し込み状況についてお願いします。</p>
宇田課長	<p>平成30年度の保育園、こども園、幼稚園の申し込み状況について</p>
今宿教育長	<p>その他に委員さんからございますか。 無いようでしたら、以上を持ちまして、定例会を終了します。</p>